



東北大学

平成 21 年 2 月 4 日

報道機関各位

東北大学大学院医学系研究科  
東 北 大 学 病 院

わが国の慢性心不全患者のメタボの頻度は一般人口の 2 倍以上！  
(厚生労働省班研究)

東北大学大学院医学系研究科／東北大学病院の下川宏明教授（循環器病態学）らのグループは、わが国の慢性心不全患者におけるメタボリックシンドロームの実態を全国規模で初めて調査し、その研究成果をまとめました。その結果、既に慢性心不全を発症している患者におけるメタボリックシンドロームの合併率は 38% と、わが国の一般人口におけるメタボリックシンドロームの割合の 2 倍以上の極めて高頻度であることが判明しました。今後のわが国における慢性心不全に対する治療目標に、高血圧・脂質異常症・糖尿病に加えて、メタボリックシンドロームの加療が重要となることを示唆しており、対策が急がれます。本研究は、循環器疾患等生活習慣病総合研究事業（心筋梗塞・脳卒中分野）の中の平成 18 年度採択研究課題「慢性心不全におけるメタボリック症候群の意義に関する研究」として行われました。

#### 【研究内容】

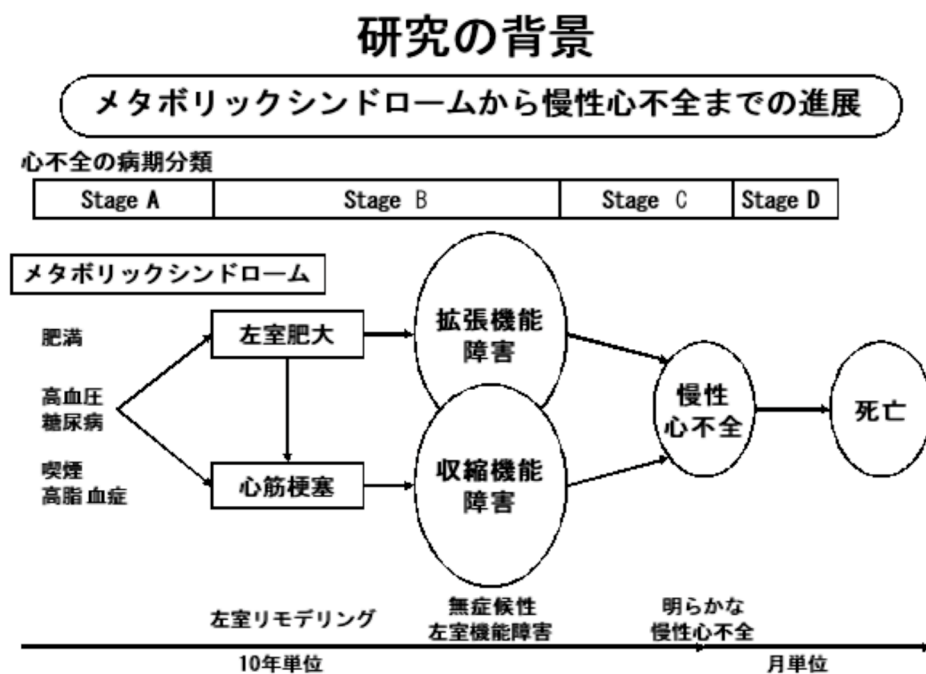
メタボリックシンドロームは、内臓肥満を基盤とし、軽度の高血圧・脂質異常症・糖尿病を合併する病態であり、心臓病の成因に深く関係しています。近年、人口の高齢化や生活様式の欧米化に伴い、わが国でもメタボリックシンドロームを始めとする生活習慣病の頻度が増加の一途をたどっています。その一方で、全ての心臓病の末期像である心不全の発症に、メタボリックシンドロームがどのように関与しているかは科学的な根拠が得られておらず、明らかではありませんでした（図 1）。現在、わが国では心臓病による死亡率は第 2 位であることから、心不全の発症にメタボリックシンドロームが関与していることが明らかになれば、早急にその対策に取り組む必要があります。

我々は、全国 6 施設から成る厚生労働省研究班を組織し、日本人の慢性心不全におけるメタボリックシンドロームの意義を検討しています（MetS-CHF 研究）。研究期間の 3 年が終了する現時点で、本研究班のデータベースを用いた中間検討を行いました（総数 8,163 名）。その結果、既に慢性心不全を発症している患者 3,440 名におけるメタボリックシンドロームの合併率は 38%（男性患者 47%、女性患者 20%）でした（図

2)。この頻度は、わが国の一般人口におけるメタボリックシンドロームの割合（男性 15-26%、女性 1-12%）の2倍以上の極めて高頻度であることが初めて判明しました。また、慢性心不全の大きな原因となる心筋梗塞の頻度は、メタボリックシンドロームのない慢性心不全患者で 39%であったのに対し、メタボリックシンドロームのある慢性心不全患者では 56%と高く、男女とも同様の傾向を認めました（図3）。これらのことから、わが国の慢性心不全の原因として、虚血性心臓病の重要性がますます増加してきている実態も分かりました。さらに、心不全予備群患者である 4,723 名におけるメタボリックシンドローム合併率は 41%と、慢性心不全患者と同様に一般人口の2倍以上であり、これらの心不全予備群患者は、メタボリックシンドロームを放置すると将来心筋梗塞を発症し、さらに慢性心不全へと移行していく可能性が示唆されました。

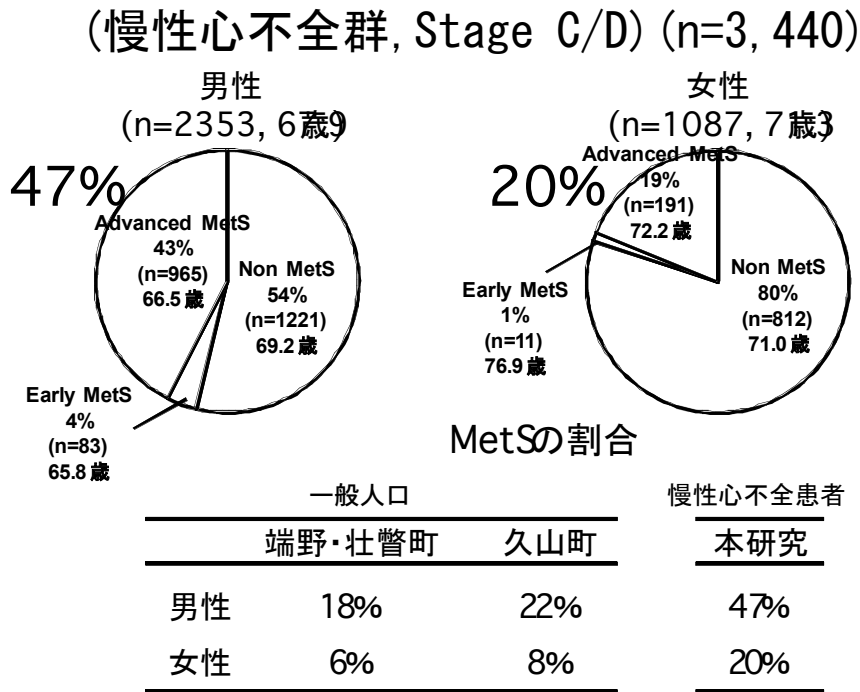
従いまして、今後のわが国における慢性心不全に対する治療目標に、高血圧・脂質異常症・糖尿病だけではなく、メタボリックシンドロームの加療が重要であると考えられます。食事療法・運動療法で腹囲を少しでも減らし、生活習慣を改善することが、ひいては心臓病・心不全の発症予防となります。この点を、今回の慢性心不全患者からなる調査群を中心に、今後、食事療法・運動療法による前向き試験でさらに明らかにしていく予定です。

図1. 研究の背景：メタボリックシンドロームから、心機能障害、心不全発症、死に至る経過



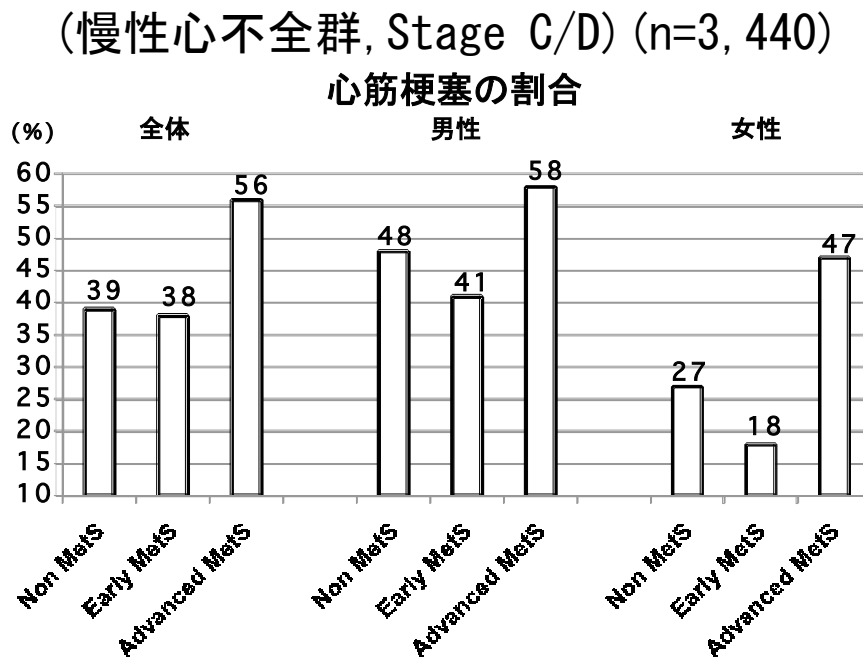
Vasan RS. et al. : Arch. Intern. Med., 156, 1789-1796, 1996.

図2 . 慢性心不全患者におけるメタボリックシンドロームの頻度（一般人口との比較）



Non MetS:                    メタボリックシンドロームではない集団  
 Early MetS:                早期メタボリックシンドローム群  
 Advanced MetS:            進行したメタボリックシンドローム群

図3 . 慢性心不全患者における心筋梗塞合併の割合



(お問い合わせ先)  
 東北大学病院  
 担当：下川宏明、福本義弘  
 電話番号：022-717-7153

